

伊那民報

発行：日本共産
党伊那市委員会
伊那市狐島3879
TEL：72-2465
HP：jcp上伊那

薬・製薬会社・製薬業界

窪村歯科医師会長インタビュー

安倍首相は、国民の声に全く耳を貸さず、7月にもTPP交渉に参加しようとしています。今回は、上伊那歯科医師会長の窪村満さんをお訪ねし、見解をお聞きしました。

国民皆保険が崩壊

混合診療の解禁で、「お金のあふなし」によって、受けられる医療に格差が出ます。保険のきく範囲が狭くなって、最新医療などは保険の適用外になります。お金持ちしかいい医療が受けられなくなって、国民皆保険

TPP学び語り知らせ阻止を!

TPP参加反対集会 学習決起

主催：TPP参加反対実行委員会
連絡先：上伊那農民組合 73-0785
鈴木宣弘 東大大学院教授
がお話します
4月30日(火)
午後6時半
JA本所3F
フラワーホール

どなたでも参加できます

制度は崩れてしまいます。



インタビューに応じる窪村歯科医師会長(正面)

身近な医療がなくなる

アメリカをはじめ、もうけ主義の企業が病院経営に乗り出てきます。日本の医療費34兆円が魅力なんです。個人経営や身近な小さな病院は潰されてしまいます。医療の質も低下し、地域医療が完全にこわされます。

また、外資の保険会社の進出で、会社が損になるような国民のための政策をとることとすると、日本の国が訴えられて負けてしまいます。

薬代が高くなる

TPPに参加している国の中に、国民皆保険の国はありません。製薬会社の利益優先で薬の値段が決められるので、薬価は値上がりする可能性大です。ジェネリック医薬品の普及も難しくなります。

憲法二十五条違反です

国民の健康を守るために、医療・福祉行政はあるべきなのに、TPP参加は、はっきり言えば憲法にも違反してきます。「健康で文化的な生活を営む権利」を、政治が奪つこととなります。

TPP阻止へ運動広げ

上伊那の医師会・歯科医師会・薬剤師会は反対です。30日の大講演会も歯科医師会(約100名)の会員には、連絡済。県規模の集会や行動が大事ですね。

地 蜂

今年の年賀に「初日影魑魅魍魎を照らし出せ」の句を書いてくださった親しい方があった。南アルプスの連山に陽光が射す光景を、中央

アルプスの山手から見ると、こんなイメージを住民に抱かせてくれる。句中のむずかしい漢字には「ちみもりょう」とふりがなが振ってあり、辞書には「山中の怪物と水中の精、いろいろな化け物」とある。私は、含意を汲んで、日々ぶつかる困難や不可解なことについても私たちの思考や学習が「初日影」(「日本人から、後に「初日先」の方がよいか?とモ言われた)のように「照らし出す」ものであればいいなと感じているが、素人流の勝手な解釈かも知れない。それにしても前政権の公約破りにうんざりしたことから、今度は安倍政権への交代で、ますますむき出しになってきたアメリカ追従政策、北朝鮮のミサイル問題や中国船の領海侵入にからめた日本の憲法九十六条九条改訂への動向には、多分に謀略的な臭いさえ感じられる。維新の会に「決断の政治」を期待し、「国防軍」の創設も必要ではないかという世論が増えているという。しかし、「核武装のシミュレーション」を描け」という人々は、日本各地に「原発」を稼働させているもつで、弾道ミサイルで核弾頭が飛び交う危険をどう描くのであろうか。何となくあおられ誘導されていった。かつての日本国民の悲惨な経験や思いを正面に描き出し、「世論操作」にまどわされない公正な判断ができる条件を照らし出せる状況を創り出したいものである。(W)

ネット選挙解禁で質問

参院議員 井上さとし

比例区
予定候補

18日、倫理選挙特別委でネット選挙解禁法案の質問。選挙の自由の保障のためネット解禁は大きな前進としたうえで、ビラ配布などネット以外の選挙活動



21日、岡谷市の演説会で唐沢ちあきさん(右)と

動を規制した公選法全体の見直しも呼びかけました。質疑後、全会一致で可決。本会議で成立しました。さあ、いよいよネット選挙解禁です。



20日、長岡市の「原発ゼロ学習決起集会」で国会報告(演壇)

参院選

ともにたたかうことを改めて実感

参院長野選挙区予定候補 唐沢ちあき

18日、西町公民館で参院選勝利の決起集会が開かれ、唐沢ちあきさんは、自らの生い立ちにもふれ「貧困と格差をなくすのが私の原点。勝ち抜くためにがんばります」と決意を語りました。

参院選勝利・伊那市党決起集会で激励の花束いただきました!(ステキ)。各支部からの決意表



唐沢ちあきさんと花束を届ける様子



明にも大いに励まされ、パワーアップ。ひとりじゃない、みんなと一緒にたたかうんだと改めて実感しています。ありがとうございます!!

原告団 高裁へ控訴! NEC裁判 不当判決

「NEC問題市民の会」は、3月29日の判決を受け、4月8日、「裁判報告会」を多くの原告団員と松村、木島両弁護士の参加を得て、「いなせ」で開催。住民訴訟中に市議会で1千万円で解決したのが判決を悪くした。「契約書も作らず、口約束で多額の税

金を使ったのは許せない」「判決は納得できない。大義を貫くことが大事」など活発に討論が交わされました。また両弁護士も、控訴することを強く進言し、「高裁に上告する」ことを決め11日高裁に控訴しました。一審の判決について、松村弁護士は、白鳥市長とNECラ社に対する請求については「期間1年以上経過」として却下せず、中身に入ったのは成果。「売

買経過からしてNECラ社に責任を追及すべきである」という点についての判断がないのは納得しがたい等とし、この裁判は、大企業の横暴を告発した全国的にも注目された裁判であること、また、横暴を裏付ける証拠資料も揃っていることも踏まえ、控訴を勧めました。原告団は、高裁での弁論などの準備に入っています。



東春近九条の会結成!

4月20日、東春近ふれあい館に45名が集い、東春近九条の会が結成されました。オープニングの、うたごえサークル「ざざむし」の皆さんによる「春の小川」「花は咲く」など6曲と「日本国憲法第九条」の熱唱は圧巻で心を一つにしました。

の記録映画を上映。戦争をくぐりぬけてきた人々への思いが重なり、涙をぬぐう人が多くいました。そして笛師九兵衛さん夫妻の木のオカリナとオートハープの演奏は会場を和ませてくれました。最後に東春近九条の会の結成。共に学び、共に語り合い、「平和署名」や宣伝などにとりくみ、平和憲法を守り抜くことを確認。会

場いっぱい、平和への熱い思いが詰まった集いになりました。



伊藤敬子さん作の9条クッキー



紹介を受ける事務局メンバー

西箕輪で 市政を語る会を開催

共産党西箕輪支部は、4月20日、西箕輪老人憩いの家で「市政を語る会」を開催しました。

前沢けい子市議から、3月の市議会と市政について報告があり、参加者からは、「保育所問題では、市職労に懇談会を申し入れ話し合いをしましょう」、「もっと住民運動に取り組もう」、「市のことがわかりとても良かった。議会ごとに市政を語る会を開催しよう」など積極的な発言が出され、和やかな会になりました。

窓の 市議の

人間ごはん
犬ごはん
前沢けい子

我が家はここ十数年
来玄米ご飯食なので、玄米、七分搗き、五分搗き、発芽玄米、雑穀入り玄米などを炊いています。5訂日本食品分析表によれば玄米(飯)と白米の栄養成分は、100g中たんぱく質は玄米2.8に対して白米2.5、灰分0.6:0.1、カリウム95:29、カルシウム7.3、マグネシウム4.9:

柳川ひろみ後援会 お花見会

4月7日、約50名が参加して、柳川ひろみ後援会のお花見会が行われました。伊那公園の予定でしたが、天気不安定のため、急ぎよ、中央区公民館に桜を飾って行いました。

伊藤後援会長から「桜の花は『桜に錨』と戦争中は軍国主義の推進に使われたが、いつまでも桜の花の美しい国でありたい」との挨拶があり、共産党大我地区委員長からは、



安倍首相の反国民的な実態に触れ参議選への猛ダッシュが訴えられ、柳川議員からは、今日の参加と日頃の支援へのお礼があり、3月議会を



中央区公民館で行われたお花見会

中心にした本人の活動と市政の報告がありました。懇親会では歌も出て、賑やかに親睦を深めました。

東北復興支援に「協力」を!

前回、本紙上でお願いした石巻東保育園の募金、第1回分として10万円を送金できました。ありがとうございました。

ひきつづきご支援ください。なお、左記の東北復興支援物品を取り扱っています。ご利用ください。

- わかめ(350g) 1000円
- 板のり(7枚x5袋) 1500円
- *岩手・陸前高田産です

連絡先: 荒 恵子
(74) 1255)

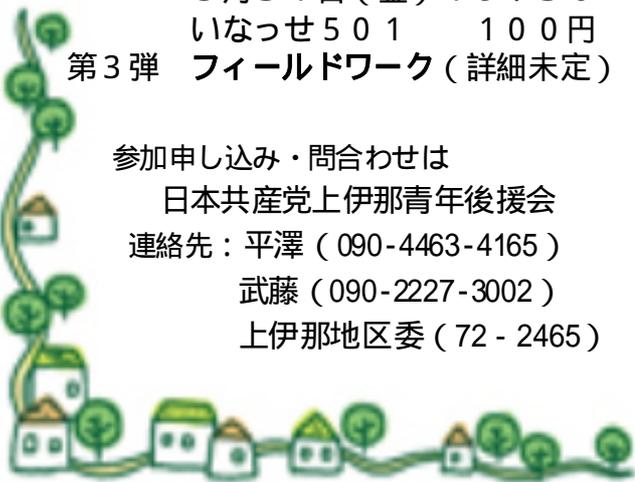
7、鉄0.6:0.1、ビタミンB10.16:0.02、食物繊維1.4:0.8と全てにおいて玄米の方が白米を上回っています。便秘でお悩みの方は是非玄米ごはんをお試ください。
犬にも玄米ごはんをあげていた時期もありましたが、消化が悪いかなと考え、今は犬用には白米を炊いて、2食の内1食はお肉主体の半生7才以上用を、1食は白米に残り物の野菜(ねぎ類は入れない)と煮干などを入れた愛情食をあげています。やはり手間かけた手作りごはんは食いつきが違います。

僕らには明日が見える 政治をかえる1・2・3

—みんなて語り合う青年のつとめ—

- 第1弾 TPP交渉参加、危険じゃね?
4月30日(火) 20:30~
ドマーニ(JA本所前)
社会人1000円、学生500円
- 第2弾 語ろう 医療福祉(予定)
5月31日(金) 19:30~
いなっせ501 100円
- 第3弾 フィールドワーク(詳細未定)

参加申し込み・問合わせは
日本共産党上伊那青年後援会
連絡先: 平澤(090-4463-4165)
武藤(090-2227-3002)
上伊那地区委(72-2465)



随想

NEC裁判・高裁に期待

富県 小林 征一

私たち一般家庭ではとても考えられない事が、まかり通ってしまったのが、NECライティング社に関わる住民訴訟での、長野地方裁判所の判決だ。「時効で却下」などと片付けられては残念でならない。この裁判の傍聴には8回参加した。

事件を振り返ると、伊那市は、伊那市上の原で操業していたNECラ社に、補助金を5年間で1億5千万円余もつぎ込んだ。ところが平成22年11月、5年余で伊那工場を閉鎖して中国へ工場を移してしまつた。NECラ社は伊那市での操業後「工場を広げたい」と伊那市に話を持ちかけた。これに心えて、伊那市の担当者は、上の原に工場用地として、約6億7千万円をかけて土地造成とインフラ整備をした。ところが、その後、NECラ社から「白紙撤回」を求められた伊那市は受け入れてしまつた。

私たち原告は「白鳥伊那市長が、NECラ社に補助金全額返還を要求せよ」、「小坂則市長、白鳥伊那市長(当時の特命担当)は、土地造成とインフラ整備にかけた費用などの賠償をNECラ社に要求せよ」と長野地方裁判所に訴えた。

私たちが住民訴訟を起している最中に、伊那市議会が、平成24年3月から4月の議会で伊那市とNECラ社との調停で「NECラ社が伊那市に1千万円を支払ふこと。その他の請求権を放棄する議決」をしてしまつたことが判決を大きく左右してしまつたと思う。司法はこの程度のものかとも考えた。

市民の税金です。半端の額ではない。「ああそうですか」と簡単に引き下がれない。市民の大切なお金は予定を立て、市民のために慎重に使うてほしい。そう思つて控訴に賛成した。良い結果が出ることを期待したい。

催し案内

絵手紙

高尾町 山崎 桂子



「脱原発」いな金行動

毎週金曜日午後6時～6時30分

いなっせ北側広場

主催：さよなら原発上伊那の会

連絡先：医療生協組合員センター

平和憲法を守る県民大集会

4月29日(月・祝日)午後1時開会

ホクト文化大ホール(長野市)

記念講演 澤地久枝さん

「九条の会」よびかけ人・作家

上伊那全体から大型バス、西箕輪・東

春近からはマイクロバスが出ます。

連絡先：民主会館(72-2465)

メーデー集会

5月1日(水)午前9時40分～

J A本所3Fフラワーホール

みはらし新緑ウォーキング

5月14日(火)午前9時50分

みはらしファームとれたて市場前集合

主催：上伊那医療生協健康づくり委

連絡先：組合員センター(79-8702)

憲法と原発を考えるシンポジウム

5月3日(金)午後2時～4時半

J A本所3Fフラワーホール

報告者 曾我逸郎中川村長

野口俊邦元信大農学部長

小牧 崇元高校社会科教師

6/8との共通協力券500円

主催：原発と憲法を考える実行委員会

連絡先：久保田(78-0823)

お便り、情報、原稿をお待ちしています。

どんなことでも結構です。

発行元までお寄せください。(編集部)

